




施策名	大 事 項 中 事 項 小 事 項	地球温暖化対策に対する取組み 環境負荷の小さい交通体系の構築 公共交通機関の利用促進 [交通バリアフリー施策の推進]	交通政策部																
施策の概要	a) 高齢者や障害者など、移動制約者からの社会参加要請の高まり等を背景に、ユニバーサルデザインの考え方を基に、いつでも、誰もが公共交通機関を安全、かつ円滑に利用できるよう、バリアフリー関連補助事業を活用し、バリアフリー施設等の整備を支援する。																		
28年度の計画	九州の施設の概要 【バリアフリー化の目標値（平成32年度まで）】 旅客施設、鉄軌道車両、乗合バス、福祉タクシー、旅客船、航空機 ・旅客施設（利用者数3,000人/日以上のもの）：原則100% ・鉄軌道車両：約70% ・ノンステップバス：約70%(対象から適用除外認定車両を除外) ・リフト付きバス等：約25%(適用除外認定車両) ・福祉タクシー：約28,000台（全国） ・旅客船：約50% ・航空機：約90%																		
27年度の実績と評価	九州の施設の概要 駅のエレベーター・エスカレーターの設置、LRTの導入、ノンステップバスの導入、地方公共団体のバリアフリー基本構想の策定の支援等通じて、高齢者、障害者の移動利便性の更なる向上を図った。 27年度末の設置状況 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>鉄道駅：JR九州</td> <td>エレベーター</td> <td>120駅</td> <td>113駅</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エスカレーター</td> <td>48駅</td> <td>46駅</td> </tr> <tr> <td>西鉄</td> <td>エレベーター</td> <td>22駅</td> <td>22駅</td> </tr> <tr> <td></td> <td>エスカレーター</td> <td>17駅</td> <td>17駅</td> </tr> </table> 福岡市営地下鉄、北九州モノレールは全駅設置済み 旅客船ターミナル：多階ターミナル35施設のうち、エレベーターは30施設、エスカレーターは11施設（22基）に設置済み 福祉タクシー：1,274台 26年度末の導入台数 LRT：・鹿児島市営13編成 ・熊本市営8編成 ・長崎電気軌道 5編成 ノンステップバス：886台 26年度末の導入台数 旅客船：51隻 うち、26年度の就隻数 7隻 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>UDタクシー</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ノンステップバス</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>バリアフリー化船</p>  </div> </div> バリアフリー化については、多額の事業費を要する等、課題はあるものの、毎年、着実に向上している。			鉄道駅：JR九州	エレベーター	120駅	113駅		エスカレーター	48駅	46駅	西鉄	エレベーター	22駅	22駅		エスカレーター	17駅	17駅
鉄道駅：JR九州	エレベーター	120駅	113駅																
	エスカレーター	48駅	46駅																
西鉄	エレベーター	22駅	22駅																
	エスカレーター	17駅	17駅																